

日

研究協力をお願い

昭和医科大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

X線画像による胃管チューブ位置特定支援システムの構築			
1. 研究の対象および研究対象期間 2023 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに昭和医科大学横浜市北部病院で行われた胃管チューブ先端確認目的でX線撮影を行った患者さん。			
2. 研究目的・方法 近年、認知症を含む後期高齢者化が進み、胃管挿入の件数が増加しています。胃管先端確認として胃内注入音の聴取、胃内容物の吸引がありますが、位置を特定するのは難しく、全症例でX線画像による確認が行われる程重要視されています。しかし、日本医療安全機構の調査では、X線画像上で胃管先端が肺野にあるにもかかわらず、医師による見過ごしがあり、栄養投与され重大な医療事故に繋がるケースがあったと報告されています。ここで医療事故防止を目的とした、胃管先端の確認を機械学習モデルで自動検出するシステムを構築できないか検討します。			
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで			
4. 研究に用いる試料・情報の種類 2023 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに昭和医科大学横浜市北部病院で行われた胃管チューブ先端確認目的のX線写真を使用します。他には、 ・胃管挿入後の患者の体重 ・胃管挿入後の患者の年齢 ・胃管挿入後の患者の性別 ・胃管挿入後の患者のX線画像 ・胃管挿入前の患者のX線画像			
5. 外部への試料・情報の提供 該当致しません			
6. 研究組織 研究責任者 研究機関名 昭和医科大学横浜市北部病院 氏名 岩田遥司			

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院横浜市北部病院 放射線技術部

住所：〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

氏名：岩田 遥司

電話番号：045-949-7477